

Less is More

Nバスで巡る南城の旅

本当の豊かさって、なんだろう。
 いろんな答えがあるけれど
 ふるさとは、私に教えてくれた。

あれもない、これもない、だからこそ
 ナチュラルで、美しく、
 助け合って、やさしくて。

なにもないようで
 これからの全てが詰まっている
 私の原点。

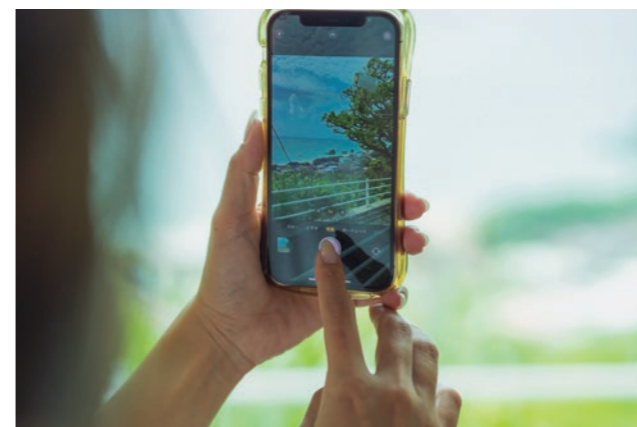
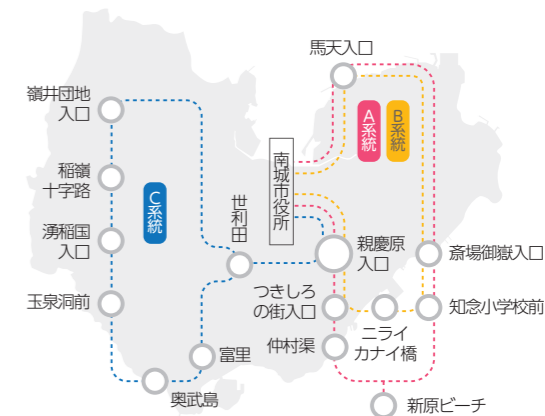
Taking a trip around Nanjo on the city's "N bus" line, you may wonder, what is true richness? Surely Nanjo's true wealth is its nature and beauty and the way people are kind and support each other.

N bus 市民と観光客に親しまれる 市内線 Nバス

Nバスは2019年10月に運行を開始しました。市内中心部に位置する南城市役所を発着点としています。市内東部を巡るA・B系統、西部を巡るC系統のほか、通勤・通学に便利なD・F・G系統も運行し、きめ細かな市民ニーズに応じています。

また、Nバス運行に併せ、民間バス会社と協力し、幹線バスの再編も行いました。南城市役所からは幹線バスが発車し、利便性を高めています。

カラフルでフレンドリーな車体は観光客にも人気。風光明媚なコースを巡る気軽な移動手段として活用されています。



Nバスの乗車料金

	市民 (回数券・OKICA)	通常運賃	1日乗車券
大人	160円	300円	700円
中高校生	80円	300円	500円
小学生	80円	150円	350円
未就学児	無料	無料	無料

1日乗車券のほか回数券、ICカード(OKICA)、電子乗車券など各種決済方法を取り扱っています



N-Bus started operating in October 2019. Its routes start and end at the centrally located Nanjo City Hall. The bus service offers discount fares for local residents and one-day tickets for tourists. Digital tickets that can be purchased online are also available.



route A 空間に身を委ねるだけで、ここが特別な場所だとわかる。
神話の世界と同じ空間で、ただ何もしない、贅沢な時間。

上/ヤハラヅカサは琉球創世の神「アマミキヨ」が、海を渡って第一歩を記したとされる浜。原点を見つめるのにふさわしい場所。左下/水が湧き出る場所を「樋川(ヒージャー)」や「井(カー)」と呼ぶ。垣花樋川は日本の名水百選にも選ばれた。南城市はこのような泉が各所にある水のまち。右下/南城市内にはオーシャンビューの人気カフェが点在。美しい自然が観光資源となっている。(協力: 食堂かりか tel.098-988-8178)

Yaharazukasa is the beach where the god of Ryukyu's creation first stepped. Kakinohana-hijjaa is a spring surrounded by beautiful greenery. Surrendering to the world of myth is a luxurious time to do nothing. Popular cafés that showcase the natural landscape are also dotted around the area.

route B 静かな聖地で自分に向き合い、解き放つ景色で自分を解放する。
ありのままがいいんだね。旅の途中で、自分に還っていく。



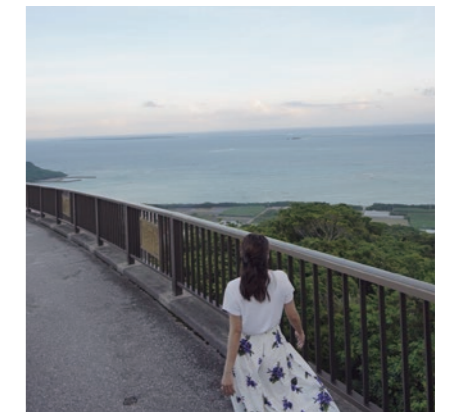
左/斎場御嶽(せーふうたき)。2000年にユネスコ世界文化遺産に登録。琉球王国最高の聖地とされ、多くの参拝者が訪れる。右上/知念岬公園。三方を海に囲まれ、開放的なパノラマを実感できる。右下/ニライ橋・カナイ橋。丘陵の頂から麓までを繋ぐ2つの橋。フォトジェニックなスポットとして人気。



斎場御嶽の券売所となっている「南城市地域物産館」では、市内の様々な物産を販売。

Sefa-utaki, a sacred site registered in 2000 as a World Heritage Site, is a place of tranquility and inner reflection. Conversely, the views from Cape Chinen Park and the Nirai bridge and Kanai bridge are invigorating and expansive. Local products can be purchased at the Nanjo City Regional Products Center.

島の人々は、まるで昔からの友人のように話しかけてくれる。
おいしい、やさしい、たのしい。ひたすら、元気をくれる。



左/ワーケーション施設も充実。仕事の合間、目の前の絶景で頭も冴える(協力: ユインチホテル南城 tel. 098-947-0111)。右上/奥武島いまいゆ市場では元気な島の人々が新鮮な海産物を販売。右下/奥武島では「てんぷら」が人気。休日には多くの人々が島が賑わう(協力: 大城てんぷら店 098-963-9618)。



夕暮れ時、奥武島のウミンチュが泡盛を酌み交わし、日々の疲れを癒し、仲間を労う。



Workcation (work + vacation) facilities are available at hotels in Nanjo. After work, guests can visit the fisherman's island of Ojima and enjoy local delicacies, such as Okinawan tempura and sashimi (raw fish).